

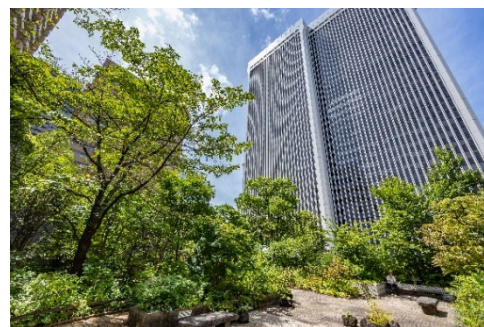
**大規模都市緑化に取り組んだヴァーティカル・ガーデンシティの先駆け
国土交通省「優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)」で
アークヒルズが最高ランク「★★★(トリプル・スター)」を取得
～約 40 年間にわたる緑地の維持管理と活用を高く評価～**

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長 辻慎吾)が管理運営するアークヒルズ(東京都港区)が、国土交通省が令和 6 年度に創設した「優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)」の 2025 年度認定において、最高ランクである「★★★(トリプル・スター)」を取得しました。1986 年の竣工以来、約 40 年間にわたる緑地の維持管理と活用が高く評価されたものです。なお、当社が管理運営する物件の最高ランク認定は、麻布台ヒルズに次いで 2 件目となります。

日本初の民間による大規模再開発事業

1986 年竣工のアークヒルズは、日本初の民間による大規模再開発事業であり、建物の屋上緑化を含む様々な都市緑化に取り組んだヴァーティカル・ガーデンシティ(立体緑園都市)の先駆けです。

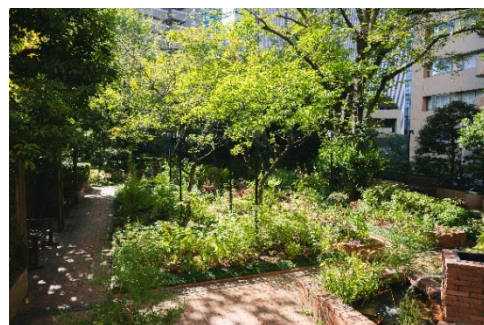
竣工当初は常緑樹が中心の植栽でしたが、緑の「量」だけでなく、「質」への転換を目的として 1997 年に屋上ガーデンを改修。季節ごとに表情を変える落葉樹や、四季の移ろいを感じられる草花を中心とした植栽へと生まれ変わりました。外周歩道には、約 140 本、約 700m におよぶ桜並木を整備しており、竣工以来、都心有数の花見スポットとして賑わいをもたらしています。



緑被率は 23.2%から 40.0%へと大幅に向上

当社では竣工後の緑地の維持管理に努めており、緑地の成長指標の一つとして「緑被率」を採用し、毎年計測しています。

アークヒルズの緑被率は 1990 年時点で 23.2%でしたが、2025 年には 40.0%にまで向上しました。今後は緑地の美観や安全性向上を目的に、外周歩道の桜の一部植え替えやガーデンの改修を計画しています。



■「優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)認定」とは

都市緑地法に基づき、民間事業者等による良質な緑地確保の取り組みを、国土交通大臣が緑の「量」と「質」の観点から評価・認定する制度です。緑地の「量」については、緑地の割合を、緑地の「質」については、主に「気候変動対策」「生物多様性の確保」「Well-being の向上」の観点から、温室効果ガスの吸収量、生物の良好な生息・生育環境形成に資する取り組み、緑地における人々の交流・滞在促進に資する取り組み等を評価します。認定ランクは評価レベルに応じて「★(シングル・スター)」「★★(ダブル・スター)」「★★★(トリプル・スター)」の三段階で割り当てられ、最高ランクの「★★★」は、緑地の「量(割合)」が敷地面積の 30%以上かつ緑地の「質」が 150 点中 100 点以上を満たす事業を対象としています。

森ビルは、引き続き、「都市を創り、都市を育む」の理念のもと、“都市と自然の共生”“都市の脱炭素化”“資源循環型の都市”を追求し、未来へとつながる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 伊藤・久保田

TEL : 03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

(1)民間初の大規模再開発事業で積極的な緑化に取り組む

1986 年竣工のアークヒルズは、民間による日本初の大規模再開発事業であり、都市機能の集積・充実に加えて、都市と自然の共生など、時代に先駆けた価値を提案してきました。

緑化の観点では、竣工当初から屋上を含む施設内の緑化に積極的に取り組み、サントリーホール屋上のルーフガーデンをはじめとする 7 つのガーデン「アークガーデン」を整備。また、敷地の 20% を超える緑地に 40,000 本以上の樹木を植えるなど都市の生態系を育み続け、都心に季節感のある風景をもたらしています。外周道路に植えた約 140 本、約 700m に及ぶ桜並木(ソメイヨシノ)は、今では都心の桜の名所となっています。

1997 年には常緑樹中心であった緑地に草花も追加し、季節の移ろいを感じながら緑と関わることのできる場所として進化を続けています。



屋上ガーデンに広がる豊かなみどり

(2)「気候変動対策」「生物多様性の確保」「Well-being の向上」に資する良質な緑

① 「気候変動対策」の観点

持続的な維持管理の観点から、緑地で発生する落葉・落枝の堆肥化やワークショップでの利用等の計画を取り入れています。

② 「生物多様性の確保」の観点

いきものに配慮した植栽計画としている点に加えて、野鳥の生息環境保護のための「バードピア」への登録や、当社の開発物件を含む付近の緑地と「エコロジカルネットワーク」を形成しており、いきものの生息拠点に配慮した緑地を創出しています。加えて、生物多様性や緑について学ぶ環境教育を実施しています。



都心のいきものについて学ぶ環境教育の様子

③ 「Well-being の向上」

全ての利用者にとって安全・安心な緑地とすべく、定期的な巡回や様々な安全対策を実施しています。また、外周道路の桜並木により、緑に囲まれたウォーカブルな空間となっています。

さらに、サントリーホール屋上ガーデンでのワークショップや、コンサートの開催など、季節を問わず身体を動かしたり、リラックスしたりしながら緑を感じることができるプログラムがあり、街の賑わいの創出や、多様な来街者を対象とした体験やコミュニケーションの場としても活用されています。



桜並木によりウォーカブルな空間を形成